

新潟県

公民館月報

昭和57年8月号

発行所 新潟県公民館連合会

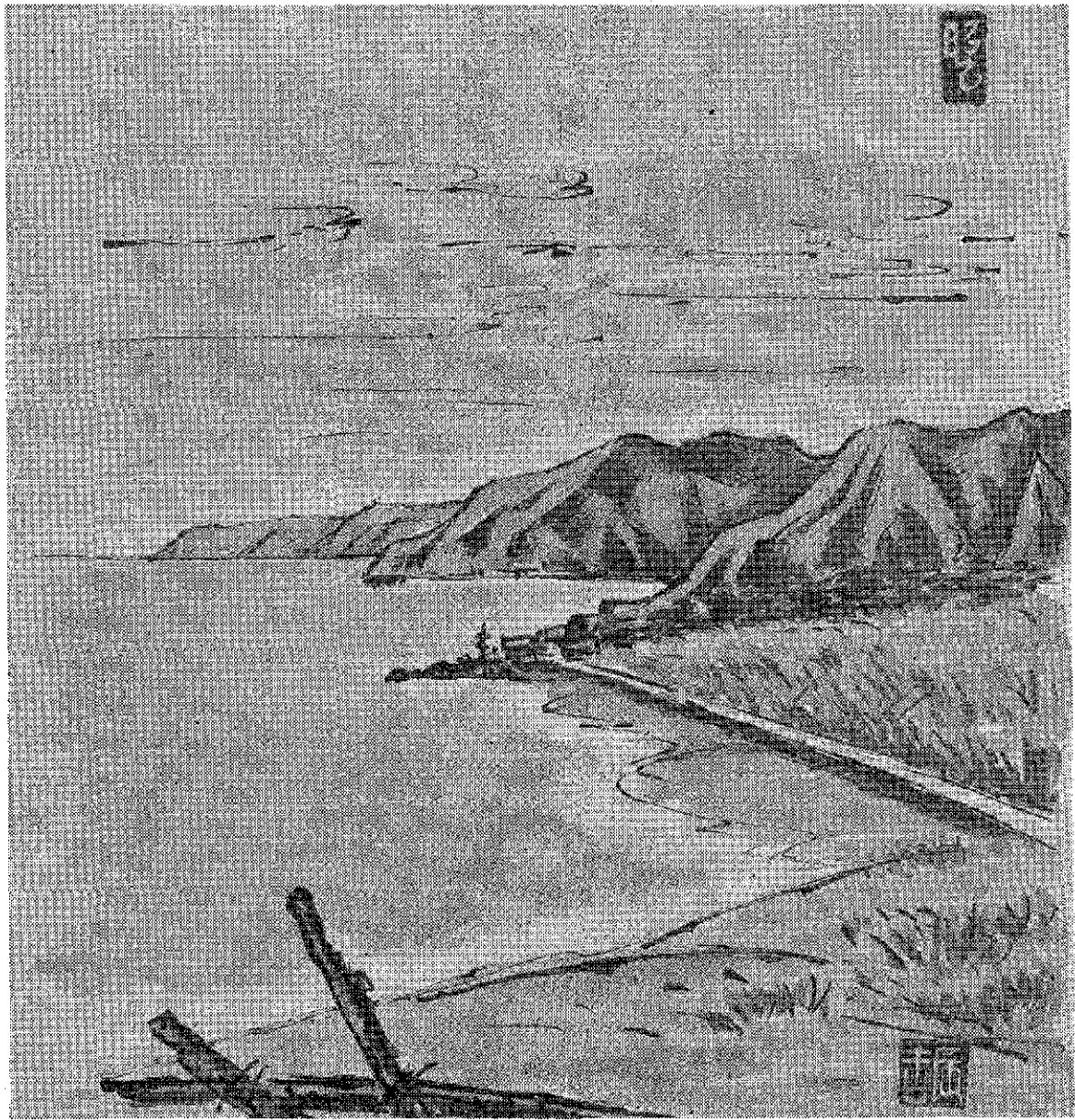
【新潟市川端町2-19・県林業会館内】

【電話・新潟(0252)24-6073】【振替新潟
4049】

発行人 会長 石井耕一

編集人 事務局長 本田清

【定価1部 100円 年会員 1,200円】



能生海岸線

急行バスが、直江津から日本海に迫る山ろくを、文字どおり縫うようにして糸魚川へと向う。谷浜、有間川を経て名立川を過ぎるとやがて能生——能生町の海岸線は限りなく美しく、そして長い。

夏、海水浴客でにぎあう百川の海岸から、後ろの窓を振り返えると、いま通過してきた藤崎・筒石部落の海岸をバックに名立、鳥が首岬が波く浮かび、その風情ひとしおである。

バスはやがてカニのまち、小泊から文化財の宝庫でもある能生海岸へと重文の白山神社本殿と聖観音、無形民俗重文の同社舞楽に加え、天然記念物の社叢と姫春蝶。さらに県町指定文化財の数々は、まさに、町の宝庫に恥じない威容である。

風光明媚に海山の幸。こんなすばらしい郷土に住むことのよろこびを、社教活動を通じて語り合い、町づくりに励みたいと希うこのころである。

絵・文

能生町教育長
吉田辰雄

県公民館振興市町村長連盟総会



十八市六十五町村が加盟

加盟予定六市町村代表も出席

県公民館振興促進活動の振興をめざすことを目的として、昭和五十二年十月、市町村長連盟の第六回総会が、県内二十八市町村をもって第五回総会が、ある七月三十日した本連盟は、その後毎年努力を新潟市白山会館で開かれた。会館の整備増し、本年総会現在二十八市六十五町長となり、未加盟は市長、二十七町村長のみとなつた。

理事	青海町長	小野正毅	毅郎三
監事	村松町長	茂野敏恭	
監事	中之島村長	斎藤	

昭和57年度

振興市町村長連盟事業計画

1. 正会員拡充運動

公民館の整備促進と活動の振興をめざす県内全市町村の加盟をはたらきかけ、組織基盤を確立する。

2. 公民館関係予算増額運動

例年、公民館振興市町村長連盟と全国公民館連合会が合同して実施している公民館関係予算増額運動に代表を送り成果を期する。

3. 研修会参加

公民館振興市町村長連盟の主催する研修会等に代表を派遣し、学習を深める。

4. 大会の共催と参加

新潟県公民館大会を共催し、参加するとともに全国公民館連合会、関東甲信越静公民館連合会の主催する研究大会、振興大会にも積極的に参加し、共通課題の解決をはかる。

5. 資料発行

新潟県公民館振興市町村長連盟要覧を発行するとともに関係方面に配布して周知啓発に努める。

公民館関係法令・解説

公民館長・公民館主事・公民館職員・公民館運営審議会委員・社会教育主事・社会教育委員・教育委員会関係者・公民館を利用する人・社会教育関係団体関係者等の必携の書として広く活用されています。

第六回総会は十五市、三十六町村長が出席、議長は堀之内町長大瀬端氏を選出。昭和五十六年度刈羽村、瀬戸村、三和村、三川村、神林村などの代表者がオブザーバーとして出席した。

**〔写真は
白山会館での同総会〕**

昭和57年度

新潟県公民館

振興市町村長連盟役員名簿

会長	豊栄市長	石星秋市	耕利保信直靖
副会長	小千谷市長	井野山橋倉垣淵津田	雄夫樹二晴正
副会長	松代町長	石星秋市	秋保信直靖
理事	両津市長	井野山橋倉垣淵津田	秋保信直靖
理事	中条町長	石星秋市	秋保信直靖
理事	山北町長	井野山橋倉垣淵津田	秋保信直靖
理事	堀之内町長	石星秋市	秋保信直靖
理事	川西町長	井野山橋倉垣淵津田	秋保信直靖
理事	新井市長	井野山橋倉垣淵津田	秋保信直靖

◎内容

教育基本法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館の設置及び運営に関する基準規程・通達「公民館基準の取扱いについて」解説つき。

A5判34ページ 1部 300円(送料実費)

○申し込み先

〒951 新潟市川端町2-19 県林業会館内

県公民館連合会事務局 電話 0252(24)6073



県公民館振興市町村長連盟名簿

名 八郎 平 公 夫 邦 雄 二 榮 厚 治 夫 敬 靖 雄 五 一 雄 彦 夫 彦 治 郎 則 之 夫 郎 雄 郎 泉 清 一 夫 戴 喜 孝 哲 賢 富 行 良 利 憲 政 劣 正 保 正 耕 富 俊 正 利 豊 力 公 正 信 孝 重 敏 誠 道 憲

氏 上 林 木 井 沢 藤 野 川 波 藤 边 保 田 橋 沢 井 田 山 川 風 浅 野 橋 嶋 倉 藤 嵐 野 谷 腰 子 間 田
川 小 植 今 滉 近 斎 星 皆 閔 南 佐 渡 大 池 市 吉 石 本 米 吉 五 湯 平 高 鬼 熊 伊 五 茂 滾 宮 金 本 村
市 村 村 湯 岡 越 崎 条 発 津 千 茂 附 泉 尾 魚 井 津 根 采 田 瀬 ケ 原 神 浦 篠 川 寺 町 村 町 村 町 村 町
市 新 長 上 柏 三 新 小 加 見 繙 五 坊 糸 新 兩 白 豊 安 京 水 笹 豊 圣 加 紫 中 黒 小 村 橫 亀 岩 弥 分

名 一 衛 郎 五 雄 彦 三 一 市 一 二 郎 作 合 郎 弘 二 雄 郎 男 二 一 郎 三 造 郎 雄 平 作 三 一 郎 己 恒
要 近 茂 正 義 元 恒 正 常 林 弘 甚 重 精 甚 靖 鉄 彦 丑 菊 欣 東 正 賢 久 勇 功 利 一 義 精 栄 克

氏 川 田 妻 井 川 藤 田 藤 田 藤 田 内 沢 藤 野 村 柳 淵 山 塩 下 分 平 津 村 沢 井 野 山 波 藤 中 水 田 村
長 薄 浅 酒 皆 佐 斎 伊 遠 斎 河 平 佐 清 中 青 大 横 星 大 森 大 大 根 上 石 永 牧 秋 高 佐 田 清 竹 增
巻 味 黒 中 下 栄 中 津 鹿 上 三 与 出 和 寺 川 堀 小 湯 広 湯 六 大 川 中 津 高 小 松 牧 柿 大 頸 善 町 板



私の小学校のこの通学路の際に農家の小さな畑があり、今でもその畑には、大根、露霧薯、茹子、トマト、胡瓜が育まっている。野菜、果物の季節感が無くなつた今日ではあるが、その畑のトマト、胡瓜を見る毎年のことを思い出す。小学一年か三年だった記憶は

重かつたトマト

高野 明

帰り道友達二三人で、みると生つて取り入つたら「駄坊これがおじさんだ」と云つた。天山のトト

よ」と云ひな真赤なトマトをとつて私の手にとつて私の手にのせてくれた。「ありがとう」と言つてその時は注意されたのか叱られたのか、取り方を教えてくれたのかとも知らない。私は地域の子供が大人になつた時、心の中に残つていつのちに地元教育をしていくよう地元教育をしていくようだらうか。農家は急速に変貌した。自動車の普及により田だつた。ただ、両手を持って帰るトマトの重さだけが今でもはつきりと記憶に残つてゐる。

今思つて、それはトマトの巨万の主人が立つて逃げ出しだ。どうしたんだらうと逃げられず無事でトマトを見つめながら、彼の手に持つて帰るトマト、後を振り向いたら私の目の前に立つていた父屋が急に走つて逃げ出しだ。どうしたんだらうと今思つて、それはトマトの巨万の主人が立つて逃げる。今口世の中には物事が豊富に出来たり人々はそれを求めたりと過目も振りずに夢中に

市町村名 佐和田町 新穂真煙小赤 泉谷助郎 房三 田本山松渡金石
氏 室伊小稻板本和 命能青関山粟相
名 治郎毅雄樹郎 仙正重直忠政 伸泰次
姓 保倉和 代崎鴻城倉
籍 田原町
職 橋藤野家垣保
務 田村町
業 町立生海川北浦島川町

良書紹介

西ヶ谷悟の

実践的

公民館経営術

何をやるかどうやるか 教

公民館経営実務のノーハウを著者の実務体験を中心に書きおろした公民館職員必読の経営実務書!!

(内容)

第一章 公民館の今日的性格と機能

第二章 公民館の経営と管理
第三章 公民館活動の企画と展開

第四章 コミニティづくりと公民館の運営
第五章 公民館の職員

第六章 公民館の予算編成と経理

第七章 公民館運営審議会の運営

第八章 公民館と関係機関・団體

著者 西ヶ谷悟
A5判 三八四頁
定価 三、〇〇〇円(送含)

申し込み先 県公連事務局
TEL〇二五二二四一

六〇七三

第5回全国公民館研究集会要項

申込み
〆切近し

主 催

社団法人全国公民館連合会
長野県公民館運営協議会はか

後 援

文 部 省 ほか

1. 趣 旨

生涯教育を推進するにあたり、公民館の果たすべき役割はますます重要性を増している。

このときに際し、本大会では全国的視野に立って当面する諸問題について研究討議を深め、その役割を明らかにしつつ今後の具体的実践方策を究明し、もって公民館の振興発展を期す。

2. 期 日

昭和57年10月13日(木)・14日(金)

3. 会 場

(主会場) 長野市民会館(10月14日)

長野市緑町1,647

電話 (0262-26-6400)

(分科会場) 長野市立桜ヶ岡中学校(10月13日)

長野市高田川端913

電話 (0262-26-3709)

4. 参 加 者

公民館長・主事・職員および運営審議会員・教育委員会事務局社会教育関係職員・社会教育委員・社会教育関係団体役員

5. 日 程

	9:00	10:10	10:30	12:00	13:00	14:30	15:00	16:00
第1日 (10月13日)		開会式	分科会	昼食	映画鑑賞		分科会	
第2日 (10月14日)	開会式	シンポジウム	昼食	午後	記念講演	閉会式		

6. 分 科 会

部会		分 科 会					
管	番号	1	都市における公民館の管理経営の課題と展望				
理		2	町村における公民館の管理経営の課題と展望				
經		3	町内公民館(自治館・類似館など)における公民館の管理経営の課題と展望				
營		4	運営審議会委員の役割・使命と活動のあり方				
會		5	家庭教育				
		6	青少年教育				
		7の1	成人教育	成人男子			
		7の2		婦人			
		8	高齢者教育				
		9	同和教育				
		10	社会福祉と公民館活動				
		11	文化活動				
		12	体育レクリエーション				
		13	放送利用				
		14	コミュニティと公民館活動				
		15	社会教育関係団体				
		16の1	公民館報	市 関 係			
		16の2		町村関係			
		17	公民館図書室				

7. シンポジュウム

「21世紀に向っての公民館の新たな役割」

8. 記念講演

演題「21世紀を背負う青少年の家庭教育」
講師 作家 藤原てい先生

9. 参加申込みと参加費

- 参加費(研究集会資料・記録集)は1人につき3,300円とする。
- 参加希望者は、別紙様式により「申込書」参加費を添えて所属の都道府県公連へ8月29日までに申し込むこと。
- 都道府県公連は、これをまとめて8月30日(厳守)までに現地事務局へ申し込むこと。

10. 宿泊および観察旅行について

- 宿泊および観察旅行については、指定する旅行業者がおこなう。
- 希望者は、旅行業者発行の案内によつて直接申し込むこと。現地事務局ではあつせんしない。

※旅行業者※

近畿日本ツーリスト株式会社長野営業所
長野市南石堂1423の19

(TEL 0262-27-7711)

11. 文通の便

- 長野駅前(正面西口)より分科会場行きのバス(各自負担)を次の時刻で配車する。
午前9時50分、10時10分
- 駅前より桜ヶ岡中学校まではハイヤーで約15分(料金は約600円)

12. その他

分科会場で使用する上履きは現地事務局で準備する。

現地事務局

〒380 長野市大字南長野字幅下692の2

長野県教育委員会事務局社会教育課
第5回全国公民館研究集会現地事務局
電話 0262-32-0111 内線886-730

新生公民館繁盛記

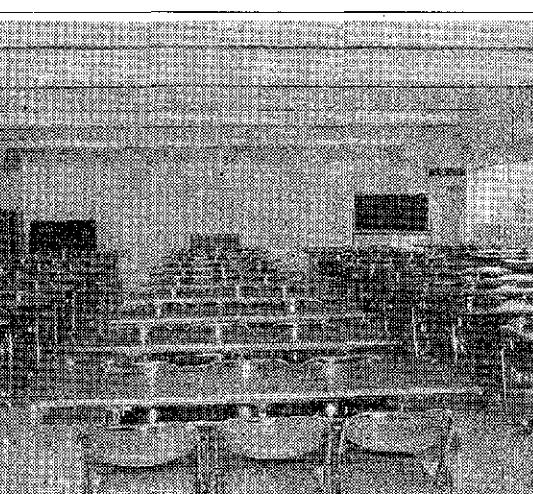
(21)

公民館は花さがり、これまでにすでに二十八館の
公民館が登場。好評をいただいています。これから
もどんどん紹介します。

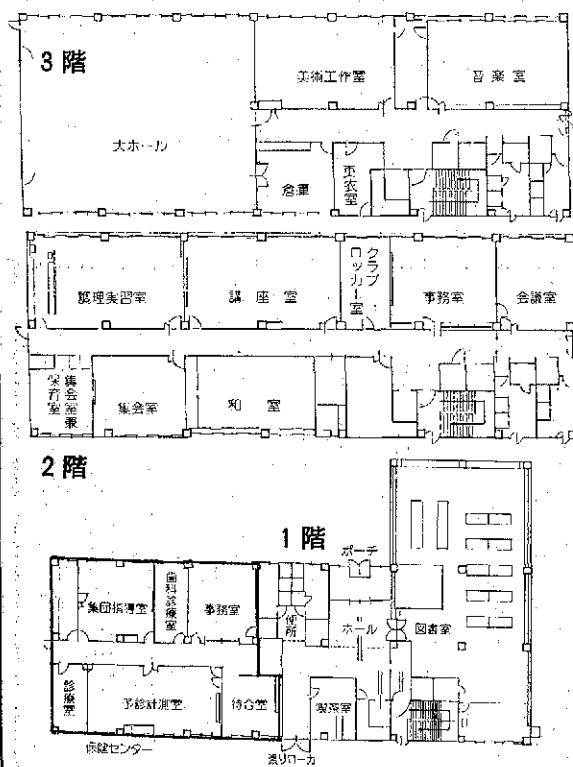
意識の高揚をめざして

心豊かな地域づくりに努める

新潟市北地区公民館



(3階大ホールは200名の集いができる)



公民館の施設規模
北地区公民館は、昨年十一月一日に松葉川、南浜の三分館を統合する市内六番目の地区公民館として、総事業費、五億七千万

部地下1階)敷地面積、六千五百坪、延床面積、三一五平方メートルで、地域住民の連帯意識の育成と自他共存の生活意識を高めることを目的とし、一層の充実発展を期して活動を展開している。

要望に答える学級講座
北地区的生涯教育の殿堂として、地域住民の生涯要求を顧みながら活動題目据えて、次のような学級

実践 参加者に喜ばれている。職員は館長一名、事務係員一名、主事二名、嘱託二名、管理人二名

講座を開設している。
家庭教育学級、婦人学級、高令者教室、婦人ボランティア会員講座、P.T.A.地域活動、外国語講座、文学講座、ジギギング講座、お弁当づくり教室、裁縫裁縫入門講座、漢方入門講座、チビッ子公民館、ワンパクキャンプ、成人学校(日本画、洋画、版画、書道)、手芸、和裁、ヨーラス、樂焼、テレビ井口端鑑識、親父を大切にする料理、三昧線、足踏、ベニシテ、手話、弓体操、ギターお琴づくり、社交ダンス、等を実践 参加者に喜ばれている。職員は館長一名、事務係員一名、主事二名、嘱託二名、管理人二名

で運営している。

地区公民館の事業には、日々追

これからは、さらに仲間同士が

本音で語り合える雰囲気づくりに努めたい。他団体との交

流、学習成果発表の機会を設定

し、住民が互いの懸念をかちうつ、力をあわせて心豊かな明るい社会づくりへと歩みだす。

